

○推薦を受けた者

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		推薦の理由	推薦者	認定農業者
					田(m ²)	畑(m ²)			
後藤 菊夫	農業	81	男	平成23年7月から現在に至るまで農業委員・農業共済役員として活動。 平成27年からライスファームアグリ朝日の構成員として活動。 令和3年11月農事組合法人匠ファーマーズ三重朝日の代表理事就任。 令和4年10月三重県麦作共励会にて農業会議長賞を受賞。	約2.4ha	-	1.朝日町の認定農業者として水稻作付に熟練し、小向地区を中心に町内全域の農地に精通しており、町内の農業者関係者内の中心的人物であること。 2.推薦者はライスファームアグリ朝日の構成員であり、生産する「あさひのお米」は、三重の安心食材認定および朝日町特産品として、学校給食や幼保園に提供され、食農教育を通じ、地域貢献していること。 3.朝日町認定農業法人である匠ファーマーズ三重朝日の代表理事であり、小麦の高品質化、高単収化を目標に農業従事していること。 4.これまでの農地利用最適化活動においても、農地貸借の出し手受け手の円滑な調整、遊休農地見回りなど献身的に活動していること。 5.これまでの農業委員会総会の場においても、積極的な施策提言があること。 これらのことから、推薦者は朝日町農業委員としてふさわしい者として、推薦いたします。	三重北農業協同組合朝日支店 支店長 小林 孝裕	○
水谷 芳夫	兼業農家	71	男	昭和48年から現在に至るまで 百貨店業務 (R8.3.31退職予定) 平成元年頃からみかん・筍の農業に従事(兼業) 令和 3年4月 農家組合副会長就任	-	約0.2ha	(1)推薦者は、埋縄農家組合副会長として地域農業の維持発展に努めており、当地区の農地に関し、深い見識があります。 (2)農年にわたってのみかん及び筍の兼業農家であり、現在埋縄地区一の規模であること、また亡父を手伝っての水稻の経験から、農業への見識と情熱があります。 (3)農年の百貨店勤めの経験から、人当たりが良く、組合員間の話し合いをまとめる能力に長けています。 (4)当地区の農地の畑地化を推進し「栗・梅」の栽培を促進していく中、観光農園構想や遊休農地対策の実務の中心人物であります。 上記理由から、朝日町農業委員適任者として推薦します。	埋縄農家組合 組合長 水谷 泰治	-
水谷 充伸	農業	58	男	1 昭和61年4月から平成16年3月まで 会社員(建設業) 2 平成16年4月から現在に至るまで 農業従事 3 平成27年7月から現在に至るまで 農業委員会 4 令和3年11月から現在に至るまで 農事組合法人理事 5 令和5年7月から現在に至るまで 農業委員長	約16.4ha	約0.1ha	①農業委員長、認定農業者として地域農業の維持発展に尽力しており、現場に精通した知見から発信力があります。今後も地域農業発展において高いリーダーシップを期待できます。 ②柿農家組合では副組合長の役職に努めるとともに、柿地区資源保全会の活動にも取り組み、柿地区だけでなく、他地区の課題解決においても農地を守り活かすための活動実績があります。 ③農事組合法人匠ファーマーズ三重朝日では役員(理事)として運営に携わるとともに、麦作事業の中心的存在であり、現場目線での気づきや発言を期待できます。 上記理由から、水谷充伸氏は朝日町農業委員として適任であるため、推薦します。	大字柿農家組合 組合長 矢野 隆司	○

○応募した者

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		応募した理由又は動機	認定農業者
					田(m ²)	畑(m ²)		
寺井 昌和	会社員	63	男	<p>1985年 4月 豊田通商(株)入社</p> <p>2022年 5月 豊田通商(株)定年退職</p> <p>2022年 6月 豊田通商(株)再雇用入社</p> <p>2023年 7月 農業委員就任</p>	-	-	<p>2022年5月に定年退職したことをきっかけに、今までお世話になった朝日町に恩返しがしたいと考えるようになりました。</p> <p>そんな時に『匠ファーマーズ』の活動や現状を知り、是非お手伝いをしたいと考えるようになりました。水谷さん、後藤さんにお願ひし、2022年11月から米作や麦作のお手伝いをさせて頂いています。</p> <p>令和5年度には『農業委員』に選出いただき、他の農業委員の方々、事務局の方々にお世話になりながらなんとか任期を全うすることができました。</p> <p>現在の米作・麦作を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。就農人口の減少や就農者の高齢化に加え、収益化の促進が求められています。令和7年度に取り組みました『農地の集約化』を皆さんと共により良い形に仕上げたいと思っております。</p> <p>微力ながら朝日町の農業の発展に寄与したいとの思いから、再度農業委員に応募することにしました。</p>	-
鈴木 渉	農業	75	男	<p>1. 平成27年に定年退職後、ライスファームアグリ朝日の構成員として、代表矢野隆司氏とともに「人と自然にやさしい三重の安心食材」の生産に従事する。</p> <p>2. 令和4年から小中学校給食に「あさひのお米」を提供し、小学生の田植え体験など、食農教育に携わる。</p> <p>3. 令和3年11月からは、農事組合法人匠ファーマーズ三重朝日の役員(理事)として運営に携わるとともに、麦作事業に従事する。</p> <p>4. 令和5年7月からは、朝日町農業委員に就任する。</p>	約0.4ha	-	<p>自身の水稻耕作に加え、農事組合法人匠ファーマーズ三重朝日の一員として、地域農業の維持発展につながることを目標に活動しています。</p> <p>活動は、縄生地内の水稻耕作や町内一円の麦作、農地保全管理をおこない、米価の安定と遊休農地発生防止に努めています。</p> <p>令和5年度に引き続き、令和7年度の農業委員募集につき、縄生地区の農業委員に立候補し、朝日町地域農業全体の発展に加え、食農教育にも尽力したく、今回応募するものです。</p>	○